



京都からの挑戦

—地球社会の調和ある共存に向けて

第16回京都大学附置研究所・センターシンポジウム

京都大学熊本講演会

報告書

コロナ禍を越えた 新しい世界へ

未知の原野を行く

2021年

日時

3月6日(土)

10:00~17:00

場所

熊本・くまもと森都心プラザホール

主催：京都大学、京都大学研究連携基盤 後援：熊本県教育委員会、読売新聞社



京都大学附置研究所・センターシンポジウム
京都からの挑戦（第16回）

報告書

地球社会の調和ある共存に向けて

まえがき

京都大学研究連携基盤主催の第16回京都大学附置研究所・センターシンポジウム「京都からの挑戦―地球社会の調和ある共存に向けて」を、令和3年3月6日(土)、熊本県熊本市のくまもと森都心プラザホールにおいて開催しました。

本シンポジウムは、京都大学附置研究所と研究センターのユニークな研究成果を広く国民の皆様にご紹介させていただくために、毎年1回、日本各地の中核都市で実施してきましたが、今回はサブテーマを「コロナ禍を越えた新しい世界へ」として熊本市で開催しました。本報告書は、その記録をまとめたものです。

シンポジウムは、湊長博京都大学総長の挨拶で始まり、午前は、森前智行准教授(基礎物理学研究所)の「量子計算と量子暗号」、梅澤俊明教授(生存圏研究所)の「熱帯地域でのバイオマス生産：コロナ禍の先を見据えて」、Lopez, Mario Ivan准教授(東南アジア地域研究研究所)の「共生社会で生きる：日本とフィリピンの間で」、徳山奈帆子助教(霊長類研究所)の「類人猿たちの『ソーシャルディスタンス』」、午後からは、小柳義夫教授(ウイルス・再生医学研究所)の「新型コロナウイルス」、宇野裕美特定准教授(生態学研究センター)(現・日本学術振興会特別研究員CPD(北海道大学地球環境科学研究院))の「未知なる川の謎を追って」、関口格教授(経済研究所)の「チームワークの経済学：助け合いの手引き」と題する各講義を行いました。いずれの講義も、斬新でユニークな発想による研究がなされていることが伝わる内容であり、当日の参加者(211名)からも多く質問が寄せられました。

引き続き行われましたパネルディスカッションでは「未知の原野に行く学問とは」を題目に、湊総長、時任宣博理事・副学長ならびに講演者7名をパネリストとして、渡辺隆司研究連携基盤長の司会により、活発な討論を行いました。最後に、時任理事・副学長より、本学の研究活動について簡潔に述べて締めくくりとしました。

当日は、熊本県を中心に多くの方にご参加いただきましたが、そのうち10代の方のアンケートには、「様々な分野の研究についての発表が行われたため、自分が今まで関心のなかったことまで知ることができて楽しかったです。」「研究する職業っておもしろそうだった。」「小さいころから好きだったことをお仕事にされていて勇気をもらいました。」といった大変嬉しい感想をいただきました。

最後になりましたが、今回のシンポジウム開催に当たり積極的なご支援をいただきました地元熊本県の皆様、長年にわたって本シンポジウムを支えていただいております読売新聞社のご支援に心より御礼申し上げます。本シンポジウムは今後も皆様とともに継続、発展をさせていく所存です。引き続き、皆様のご利用とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和3年11月

第16回京都大学附置研究所・センターシンポジウム

企画担当 湯本貴和(霊長類研究所長)

目 次

まえがき

開会挨拶 京都大学総長 湊 長博 1

講演1 量子計算と量子暗号 5
基礎物理学研究所 准教授 森前 智行

講演2 熱帯地域でのバイオマス生産：コロナ禍の先を見据えて 23
生存圏研究所 教授 梅澤 俊明

講演3 共生社会で生きる：日本とフィリピンの間で 37
東南アジア地域研究研究所 准教授 Lopez, Mario Ivan

講演4 類人猿たちの「ソーシャルディスタンス」 49
霊長類研究所 助教 徳山 奈帆子

講演5 新型コロナウイルス 63
ウイルス・再生医科学研究所 教授 小柳 義夫

講演6 未知なる川の謎を追って 75
生態学研究センター 特定准教授 宇野 裕美

講演7 チームワークの経済学：助け合いの手引き 89
経済研究所 教授 関口 格

質問回答とパネルディスカッション「未知の原野に行く学問とは」 101
パネリスト：湊 長博（京都大学総長）
 時任 宣博（京都大学理事・副学長）
 講演者7名
司 会：渡辺 隆司（京都大学研究連携基盤長）

総括・挨拶 京都大学理事・副学長 時任 宣博 137

[資料] 案内チラシ
令和3年3月30日付け 読売新聞記事

*所属・職名は令和3年3月6日現在

京都大学 附置研究所・センターシンポジウム

「京都からの提言——21世紀の日本を考える」

- 第1回 平成18年3月16日(木) 10:00~17:30
東京・品川インターシティホール
サブテーマ:「危機をいかに乗り切るか? 東アジアといかに向き合うか?」
- 第2回 平成19年3月17日(土) 10:00~17:00
大阪・エルおおさか(大阪府立労働センター) エル・シアター
サブテーマ:「ノーベル物理学賞受賞者「湯川・朝永両博士が拓いた世界」
～湯川・朝永両博士 生誕百年に因んで～」
- 第3回 平成20年3月8日(土) 10:00~17:15
横浜・新都市ホール
サブテーマ:「人間と自然:新たな脅威と命を守るしくみ」
- 第4回 平成21年3月14日(土) 10:00~17:25
名古屋・名鉄ホール
サブテーマ:「学問のつながりのユニークさ:それがつくる明るい未来」
- 第5回 平成22年3月13日(土) 10:00~17:15
福岡・アクロス福岡
サブテーマ:「グローバル社会に生きる—未来を見据える目」
- 第6回 平成23年7月3日(日) 10:00~18:00
京都・京都大学百周年時計台記念館百周年記念ホール
サブテーマ:「混沌の時代に光を探る」
- 第7回 平成24年3月17日(土) 10:00~17:00
神戸・神戸国際会議場メインホール
サブテーマ:「明るい社会の未来像」
- 第8回 平成25年3月16日(土) 10:00~17:15
札幌・北海道立道民活動センター「かでの2・7」かでのホール
サブテーマ:「科学が見いだす日本の進路」
- 第9回 平成26年3月15日(土) 10:00~17:15
仙台・仙台国際センター 大ホール
サブテーマ:「社会と科学者」
- 第10回 平成27年3月14日(土) 10:00~17:20
広島・広島国際会議場国際会議ホール
サブテーマ:「活力ある未来の“想像”と新たな展開を求めて」

「京都からの挑戦——地球社会の調和ある共存に向けて」

- 第11回 平成28年3月12日(土) 10:00~17:00
東京・品川インターシティホール
サブテーマ:「翔ぶ、京大」
- 第12回 平成29年3月11日(土) 10:00~17:10
金沢・石川県文教会館
サブテーマ:「自由風格、京大」
- 第13回 平成30年3月17日(土) 10:00~17:00
岡山・おかやま未来ホール
サブテーマ:「京大起春風」
- 第14回 平成31年3月9日(土) 10:00~17:00
浜松・えんてつホール
サブテーマ:「京大曼荼羅」
- 第15回 令和2年3月14日(土)《開催中止》
熊本・くまもと森都心プラザホール
サブテーマ:「京大・学の地平」
- 第16回 令和3年3月6日(土) 10:00~17:00
熊本・くまもと森都心プラザホール
サブテーマ:「コロナ禍を越えた新しい世界へ」—未知の原野を行く—

京都大学 附置研究所・センターシンポジウム
京都からの挑戦
(第16回)
「地球社会の調和ある共存に向けて」
—報告書—

発行日 令和3年11月
編集・発行 京都大学霊長類研究所総務掛
住 所 〒484-8506 愛知県犬山市官林41-2
T E L 0568-63-0567
印刷所 株式会社北斗プリント社

※ 本報告書は、講演等の内容を正確にお伝えできるよう、当日の筆録に一部修正・加筆を行っております。



京都大学研究連携基盤

Kyoto University Research Coordination Alliance

化学研究所

人文科学研究所

ウイルス・再生医科学研究所

エネルギー理工学研究所

生存圏研究所

防災研究所

基礎物理学研究所

経済研究所

数理解析研究所

複合原子力科学研究所

霊長類研究所

東南アジア地域研究研究所

iPS細胞研究所

学術情報メディアセンター

生態学研究センター

野生動物研究センター

フィールド科学教育研究センター

こころの未来研究センター

物質—細胞統合システム拠点